

第126期 第2四半期 株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日



新東工業株式会社

証券コード：6339

株主の皆様へ



お客さまからの「ありがとう」。 この言葉が私たちの喜びです。

代表取締役 社長執行役員
永井 淳

社長メッセージ



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社グループ第126期第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、エネルギーと食品の供給不足が主要因のインフレによる景気不振対策を各国で打ち出していますが、財政悪化懸念への配慮から難しい状況にあり、先行きは予断を許さない状況が続いております。国内では新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)は落ち着きを見せており感染状況改善による経済活動正常化を進めている状況にありますが、半導体不足による自動車等の生産抑制、原材料・エネルギーコストの上昇、資材調達難、急激な円安による為替影響等、厳しい状況が続いております。

欧州や米国では感染症後の急激なインフレへの鎮静化に向けた金融引き締め策も継続し、景気の減速傾向が進むと想定

され、中国ではゼロコロナ政策による行動制限が足かせとなり、今後も成長回復スピードは緩慢な状態が持続すると想定されます。

当社グループの事業環境につきましては、依然として半導体の供給不安や資材の調達難、原材料価格上昇に加えて円安の影響による輸入コスト高が続いておりますが、感染症により供給不足で抑制されていた自動車需要が今後供給緩和により回復が期待されます。またインドやトルコの一部で設備需要が増加しつつ、国内では自動車の急速なEV化による二次電池市場向け設備需要の高まりや、半導体産業等の電子業界向けを中心に設備や部品・消耗品が継続して堅調に推移しております。

こうした情勢下、受注高は対前年同四半期比6,473百万円増加の57,650百万円(前年同四半期比12.6%増)、売上高は同4,563百万円増加の52,007百万円(同9.6%増)、受注残高は同9,965百万円増

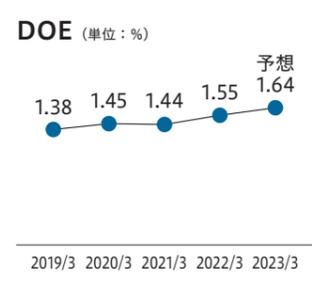
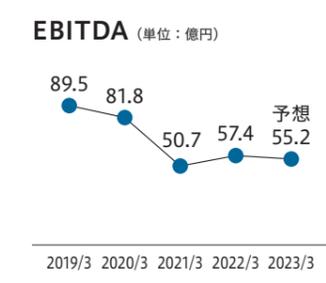
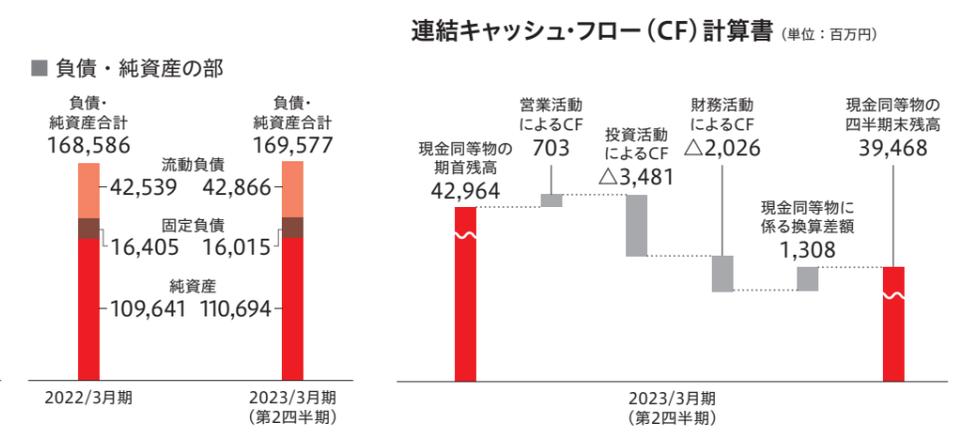
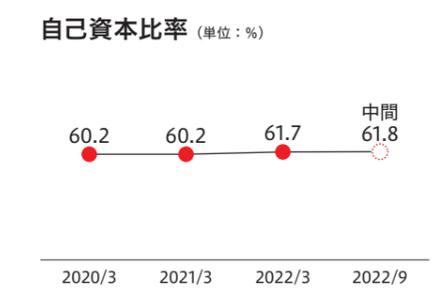
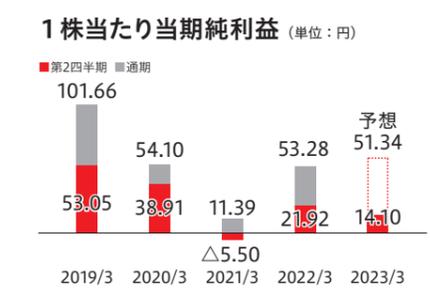
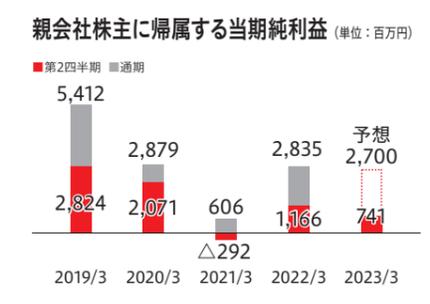
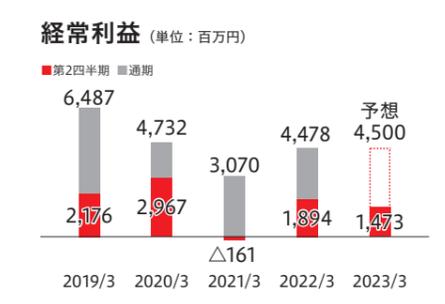
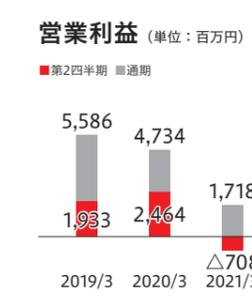
加の50,032百万円(同24.9%増)となりました。収益につきましては、営業損益は原材料等の調達コスト増要因により同785百万円減少の243百万円(同76.3%減)、経常利益は同420百万円減少の1,473百万円(同22.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は同425百万円減少の741百万円(同36.4%減)となりました。

なお、当期の中間配当金は安定配当方針に基づき、1株当たり14円とさせていただきます。また、期末配当金を1株当たり14円として、年間配当金は前期から2円増配の28円を予想しております。

これからも皆様のご期待に沿うべく全力を傾けてまいりますので、今後とも倍旧のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

財務ハイライト

	当第2四半期	前第2四半期	前年同期比
売上高	52,007百万円	47,443百万円	9.6%増
営業利益	243百万円	1,029百万円	76.3%減
経常利益	1,473百万円	1,894百万円	22.2%減
親会社株主に帰属する当期純利益	741百万円	1,166百万円	36.4%減
1株当たり配当金	14円	13円	1円増



CONTENTS	
株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
VISION (価値創造プロセス)	3-4
中期経営計画“Plus”	5-6
「統合報告書2022」発行	7
食品業界向け金属検出機「Tecnoeye®」2022年度グッドデザイン賞受賞	8
地域別・事業別売上高	9-10
Information	裏表紙

VISION 価値創造プロセス

「お客さまに選ばれ続ける」。私たち新東工業グループが目指すところであり、お客さまからの「ありがとう」。この言葉が私たちの喜びです。

新東工業の理念(アイデンティティ)

■ 会社の理念

モノづくりの新たな価値を創造し、世界のお客さまと感動の共創を実現します

■ 経営理念

経営理念

HEART

Human Enrichment & Achievement through Reliable Technology

信頼される技術を通して人間としての豊かさと成果を

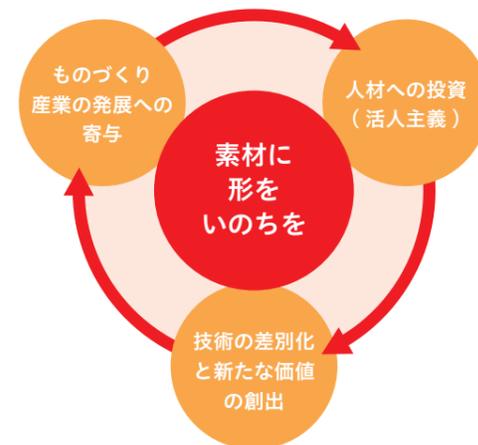
私たちの商品・サービスを通して、お客さまが競争に打ち勝ち、成果を上げることによって、お客さまに私たちを評価していただき信頼関係を築く。

■ 社是

1. われわれは、つねに堅実にして進取的な態度で事にあたろう
2. われわれは、つねに相互の信頼を深め果敢実行を旨としよう
3. われわれは、つねに至誠をもって社会に奉仕しよう



新東工業の弾み車



温暖化による異常気象

ライフスタイルの変化

自然災害の激甚化

ワークスタイルの変化

価値観の変化

私たちを取り巻く環境は、今後数十年単位で見た場合、大きく変化していきます。

左に掲げたような、温暖化の進行による異常気象や自然災害の激甚化、デジタル化の進展、技術革新、さらには先進国における少子高齢化の進展や人々の価値観の変化に伴うライフスタイル、ワークスタイルの変化など、好むと好まざるにかかわらず、時代は大きく変わっていくことが予想されています。

未来に向けた私たちの取り組み



新東工業グループは、創業以来80有余年にわたり、一貫してものづくりで素形材産業をリードしてきました。今後の環境変化、それに伴う社会課題に対し、「新東工業グループとして何ができるか」を考えた場合、これまでの歴史の中で培ってきた技術と経験をもとに、私たちの強みである「ものづくりを通じた社会貢献」、「大切にしてきた人々との絆」がその中心となると考えています。

上に掲げた目指す姿の実現に向け、私たちがこれまでの技術や経験を活かして社会に貢献すべく、新たな価値を提供してまいります。

マテリアリティ動画



事業の方向性

社会にプラスになることを、環境にプラスになることを、世界の仲間、そして未来の仲間プラスになることを、スピード感を持って行動することで、未来を創りあげていくという思いを込めています。

事業ドメイン



IoT

環境

エネルギー

ハンドリング

4つの技術で事業を全方位からカバー



環境に**Plus**になる事を



お客様に**Plus**になる事を



次世代に**Plus**になる事を



社会に**Plus**になる事を

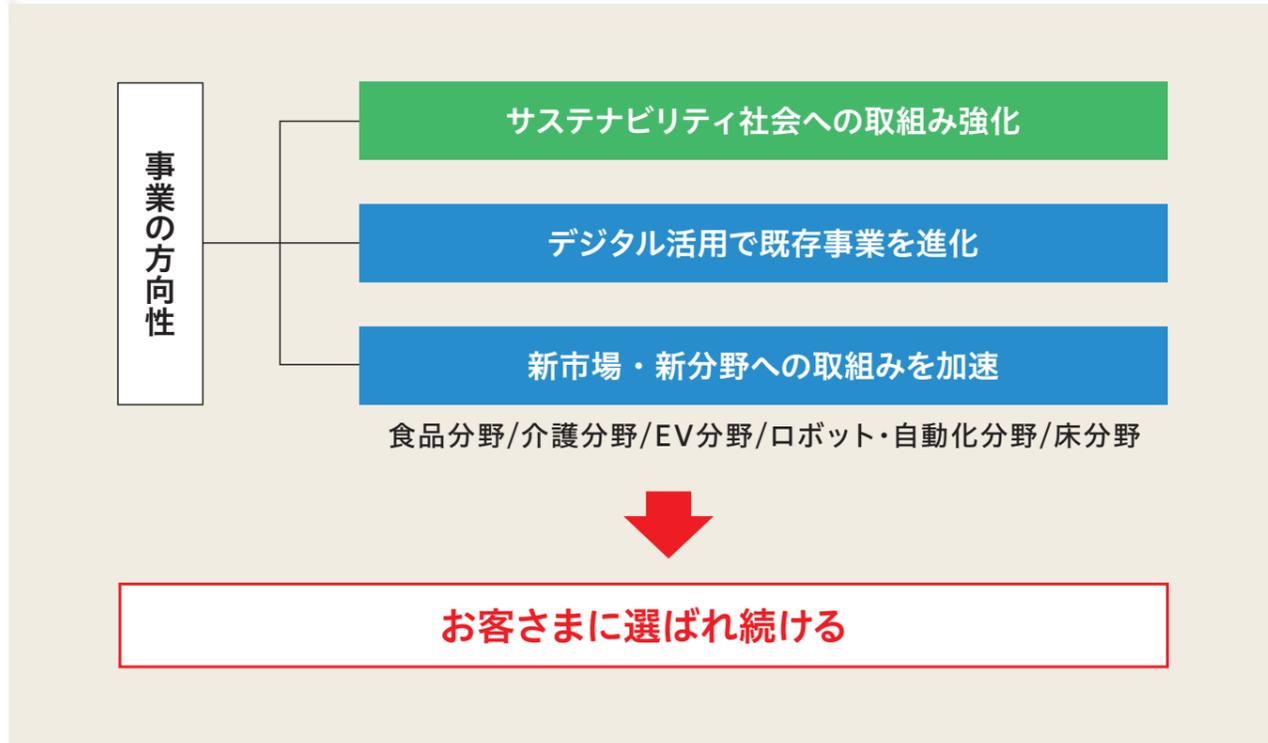


私たち自身に新たな技能・技術を**Plus**



中期経営計画 Plus

2021年4月～2024年3月



管理指標と目標値

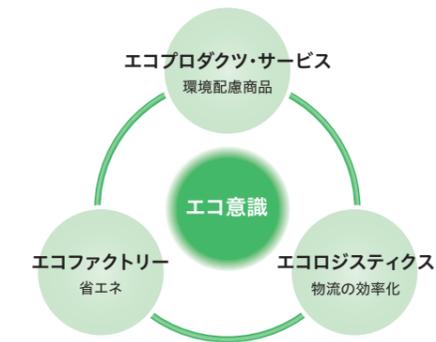
中期経営計画において、魅力ある商品・サービス創りを通して、新商品売上比率を向上(機械30%、消耗品10%)させ、新たに当社を選んできただけ、新規お客さま数2,500社の増加を目指します。また、お客さまに選ばれ続ける指標としての、成約カバー率プラス5ポイントを目指し、これらの取り組みを新市場に向けて強化することにより新市場比率を4ポイントプラスさせることを目指します。これらの取り組みにより、連結営業利益率8%以上を達成することを目標としております。

新商品売上比率 機械 30% 消耗品 10% 競争力UPへの 新商品比率	新規お客さま数 2,500社 右肩上がり で伸ばしたい お客さま数
市場のシフト(新市場比率) 4ポイント 鋳造市場以外を 大きく伸ばす	成約カバー率 5ポイント お客さまに 選ばれ続ける

営業利益率 8%以上へ

サステナビリティ社会の実現

環境保全への提案



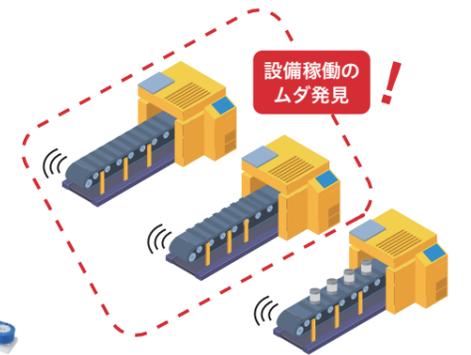
カーボンニュートラルの実現へ

● 電力の見える化

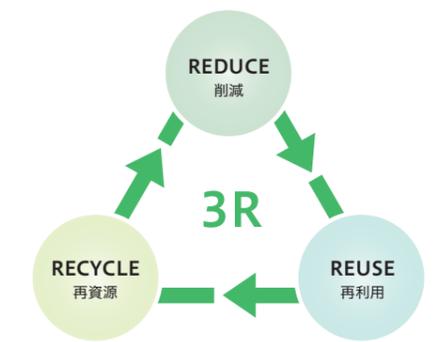
事業所単位・工場単位・ライン単位・設備単位・各アクチュエータ単位で電力の増加の原因を探る

● 電力の減らす化

- 油圧から電動へ
- 加工に合わせた集塵コントロール
- 表面評価による加工の安全率を低減



循環型社会への貢献



金属素材のリサイクル



デジタル活用でサポート進化



成長市場への深耕

既存の技術に新たな技術を融合させ、グループをあげて新分野にチャレンジ



「統合報告書2022」発行



当社は昨年まで発行してきたESGレポートを充実させ、財務・非財務情報を統合的に報告する「統合報告書2022」を発行いたしました。

本報告書を通じて、全てのステークホルダーの皆さまに、中長期的な企業価値向上に向けた事業活動、中期経営計画やサステナビリティの取り組みに対するご理解をより一層深めていただくとともに、企業価値向上に向けた建設的な対話の実現を目指します。

「統合報告書2022」では、当社が掲げる理念“素材に形をいのちを”を中心に、目指す姿に向け、当社が提供する価値や、事業戦略・企業活動の内容などを紹介しています。

VISION(価値創造プロセス)のページで示させていただいた通り、社会のため、環境のためにしなければならないこと、我々が目指していきたいところ、解決すべき社会課題、マテリアリティについて、常に念頭に置いた行動により、実践することで、持続可能な事業活動につなげていきます。

未来に向けた取り組みだけでなく、事業活動の指針としての中期経営計画の進捗などの情報開示を積極的に行う一つの手段として「統合報告書」を発行しております。

今後も継続的に更新・発行してまいりますので、私たちの企業活動のご理解の一助となることを願っております。

統合報告書



技能を大切にしたグローバル経営

経営理念である「HEART」の実現には、私たち一人ひとりが世界に通用する技能、技術を身に付け、進化していくことが不可欠です。

そのために大切にしているのが「活人主義」です。社員自身が能力を向上するためにチャレンジする姿勢を持ってほしい。そして、能力向上を目指す人たちに報いる評価をしていきたいと考えています。さらに、海外拠点においては、その国に合わせた人事制度を運用していますが、設備のメンテナンスのスキルなどは、全世界共通の基準で評価を行っています。共通の物差しによる評価をすることで、グローバルに広がるお客さまに対して、同じレベルのアフターサービスを提供することができます。その結果、お客さまから「ありがとう」の言葉をいただける。それが「One Global Sinto」の1つの共通目標です。

その成果指標として、私たちは「新規お客さま数」を掲げています。どんなに景気の浮き沈みがあっても、必ず右肩上がりで伸ばしていきたい数値です。一度お客さまになっていただいたら、その後もサポートをすることにより、ずっとお客さまであり続けていただきたい。一社一社のお客さまを大事にするとともに、私たちに関わるすべての皆さまとの絆を深めて、いつの時代もお客さまに選ばれ続ける企業であることを目指していきます。

社会課題解決へ向けた事業の取り組み

私たちは、社会にプラスになることを、環境にプラスになることを、世界の仲間、そして、未来の仲間にプラスになることを、私たち自身の行動により力強く作り上げていきます。

鑄造事業で培った技術を核にした事業拡大へ、前中期経営計画を通して、「EV」、「ロボット・自動化」、「搬送」、「セラミックス」、「再生エネルギー」、「介護」、「床」分野など、多くの分野にわたって、新たな芽を生み出すことができました。これらの新たな分野を、社会課題の解決に貢献できる新たな事業として育てていく事で、鑄造関連分野の枠を超えた、新たな事業の“Plus”につなげてまいります。



食品業界向け金属検出機「Tecnoeye®」2022年度グッドデザイン賞受賞



開発者



テクノアイプロジェクトチームリーダー
牧野 良保

開発者インタビュー

「誰もが簡単に扱える金属検出機で食の安全性向上に貢献したい」

■ テクノアイ開発の背景を教えてください

きっかけは家族で遊びに行ったお菓子メーカーの工場見学でした。子供に楽しんでもらおうと思って連れて行きましたが、袋に詰められたお菓子が機械の中を通っている工程が気になって、子供よりも興味津々で見えていました(笑)。案内係の方に質問したら、それが金属検出機だと教えていただき、その時に「新東工業の技術で金属検出機を作れないかな?」と思いました。会社としても食品業界は新規参入を狙っている市場でしたし、私自身が表面評価装置の開発を手掛けており、その知見を生かす先を探していたことも重なって、新しい市場に新東の技術を届けられるチャンスだと思い開発を始めました。

■ 開発にあたって、こだわった部分はどこですか?



こだわったのは、「最新技術を誰もが簡単に扱えるようにする」という点ですね。2021年6月に国内全ての食品事業者に対してHACCPの完全義務化が始まり、金属検出機の需要は高まっていました。その中でパートやアルバイト社員が多い食品加工会社に話を聞くと「従来の装置は使いにくい」という不満の声があったので、「扱いやすさ」を重視した装置を目指していました。一方で、フードロス削減目的で近年増加中のアルミ包装食品への検査にも対応するため、最新の検出技術の搭載も求められていました。

しかし、技術をそのまま搭載すると装置が大型化してしまい、食品加工業界で求められている「コンパクトさ」をクリアできません。そのため、商品化に向けたコンセプトは「最新技術を搭載した、誰でも簡単に扱えるコンパクトな金属検出機」にしようと考えました。アルミ包装食品にも対応可能な性能を持ちながら、装置を小型化して操作も簡単にするのは苦勞の連続でしたが、様々な方からのアイデアや意見を形にすることで商品化を実現しました。

また、テクノアイでは装置のデザインにもこだわりました。その結果グッドデザイン賞では見た目だけでなく、お客様の課題を意識した造形や機能へのこだわりも高く評価いただきました。これまで食品加工現場の声をもって、悩みながらも試行錯誤を繰り返して商品化を進めていましたが、こだわった部分をこのような形で評価されたことは嬉しかったですし、関係した全ての方に感謝したいです。

■ 初参入した食品業界。お客様の反応はどうか?

発売後初めて出展した展示会では、広告やパブリシティを積極的に展開したこともあり、新東目当てで来場された方もいました。お客様の反応としては、コンパクトさや見た目の斬新さに対する驚きが多かったですね。「これでアルミ包装も検査できるの?」という声もあり、このコンセプトで開発して良かったなと思いました。

実際に工場で使用されたお客様からは、「取説を熟読しなくても簡単に使える」「教育も楽になった」という声をいただきましたが、私が一番嬉しかったのは、「テクノアイを導入したことで、自信を持って『うちは異物混入対策をしています』と言えるようになったよ!」という言葉でした。この言葉を聞いたとき、「やっと新しい業界のお客様に新東の技術を届けられた」と思いましたし、今までで一番「開発者をやってきて良かった」と思った瞬間でした。

■ テクノアイの今後の展望を教えてください

テクノアイは、「誰もが簡単に扱える金属検出機」として、金属検出機を使った経験がある方だけでなく、初めての方にも安心して使って頂きたいと考えています。そして、「テクノアイを入れて良かった、ありがとう」という声を食品加工の業界全体に広げていきたいですね。

また、お客様が検出したい金属異物のサイズは企業規模や業種によって異なります。

そのため、現状の性能で満足せず、今後はお客様のニーズに対応したシステムアップに努めて様々な製品の安心・安全に貢献していきたいです。



Tecnoeye®の「ココ」がポイント!

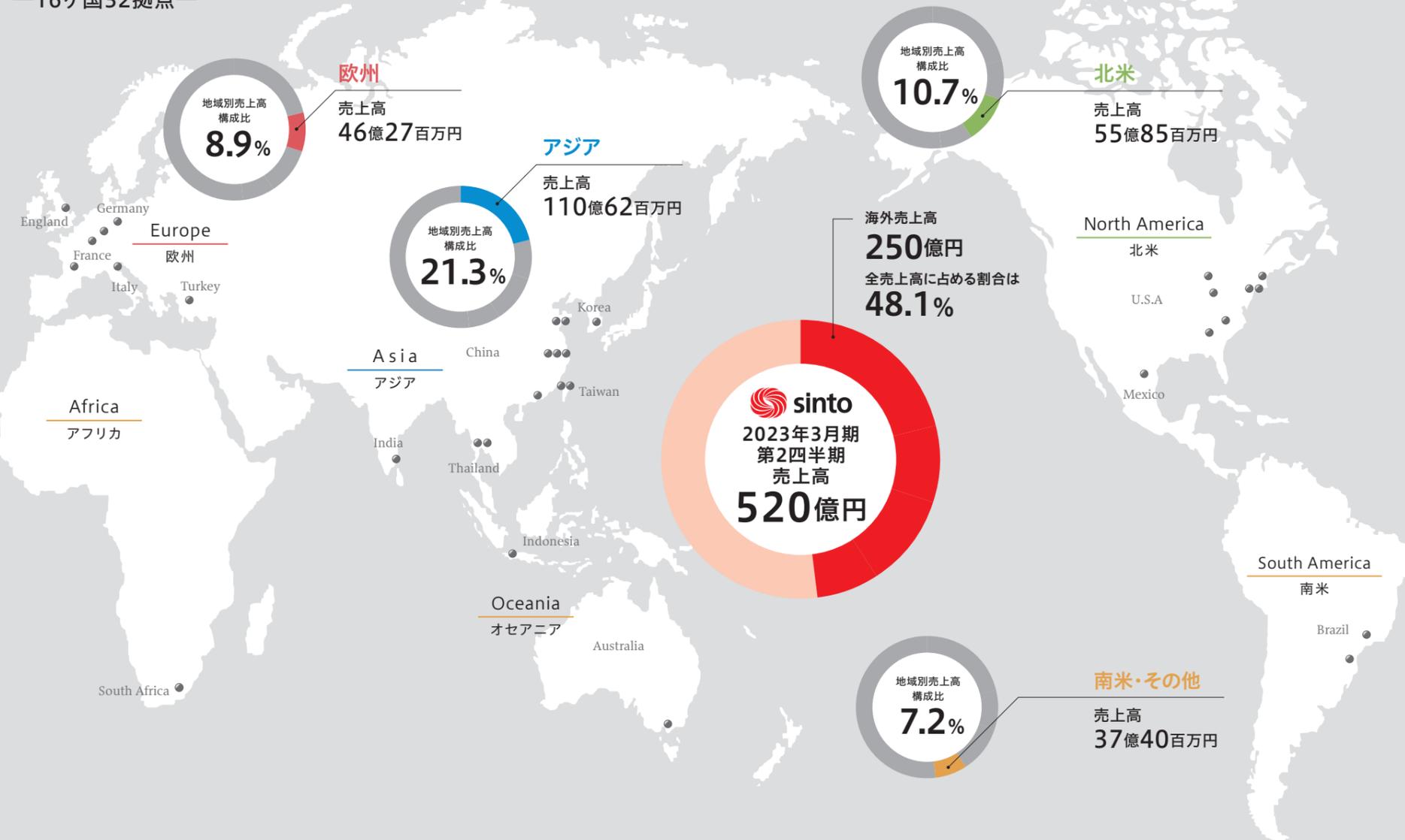


「誰でも簡単に扱えるコンパクトな金属検出機」をコンセプトに開発された金属検出機。コンパクトな筐体でありながらアルミ包装食品の金属異物検出も可能。タッチパネルによる直感操作ができ、メンテナンスも簡単。2022年度グッドデザイン賞、第52回機械工業デザイン賞IDEA審査員特別賞を受賞。

地域別・事業別売上高

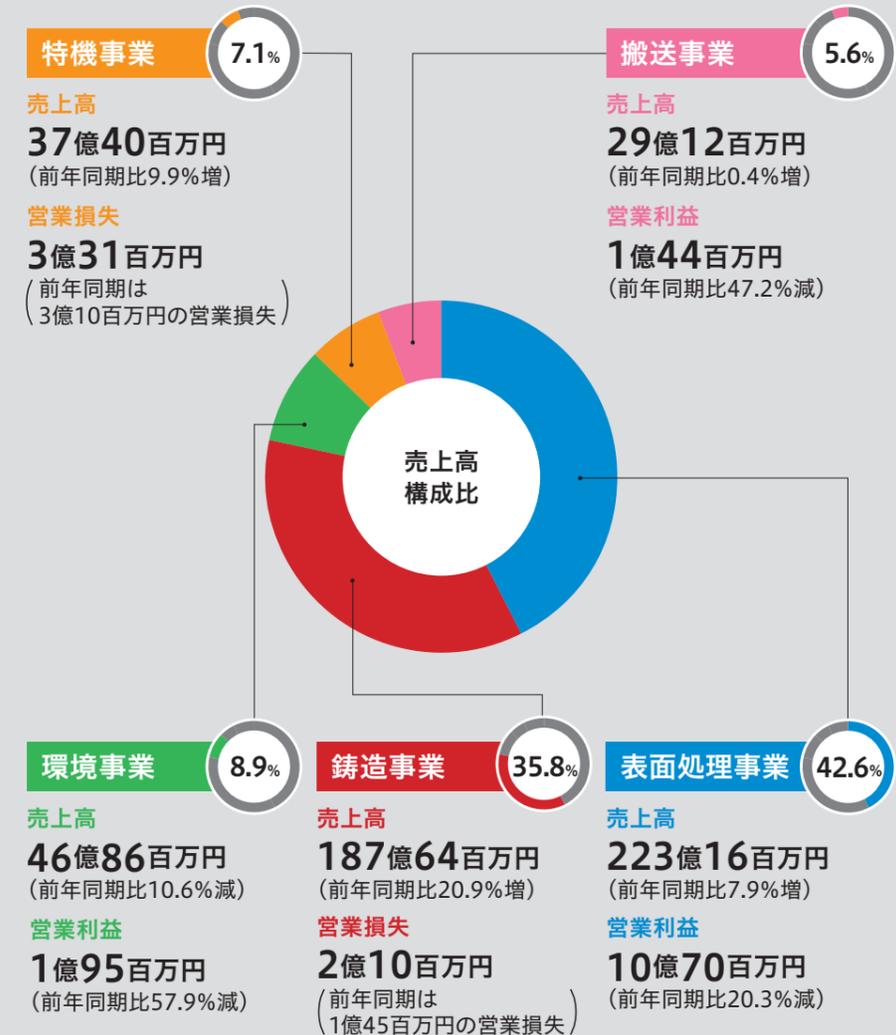
地域別売上高(グローバル展開 One Global Sinto)

海外の主な製造・販売サービス拠点
—16ヶ国32拠点—



事業別売上高

当社グループは、国内22社、海外32社で構成され、表面処理、鋳造、環境、搬送、特機の設備装置の製造・販売およびアフターサービスを主な内容として、グローバルに事業活動を展開しています。



表面処理事業 sinto SURFACE TECMART

鋳物の砂落としや製品のバリ除去から始まった私たちの表面処理技術は、時代のニーズや産業構造の変化に対応することで進化し続け、ミクロンサイズの微細加工による電子部品・精密部分野へも適用範囲を拡大してきました。

素材表面に機能を「つくる」技術から表面機能を「見る」技術へ、お客様のニーズを超えた魅力ある「表面処理をトータルに」を目指し、3Dによるシミュレーションや表面の評価技術、さらには情報技術を活用した取り組みを推し進めています。

私たちは、暮らしやすい社会を実現する“魅力ある表面”で、『ものづくり産業を支える技術の提供』を通じて、表面を変え、未来を守り、未来を創ることにより、今後も産業の発展に貢献し続けていきます。

鋳造事業 sinto FOUNDRY INTEGRATION

「産業の米」と呼ばれる鋳造は、多くのものづくりの基盤と人々の豊かな暮らしを支えています。日本で国産第一号の造型機を作ったことから始まった当社の事業は、鋳物製品に高付加価値を与える独創的な技術、Vプロセスや静圧、エアレーションなどを開発し、グローバルニッチトップ企業にも選ばれ、世界の鋳造業界をリードし続けています。

資源循環型の鋳物づくり、自動化技術やIoTの活用による省人化・働きやすい環境づくりを通じ、地域・工場で働く人の幸せとお客さまが喜ぶ鋳物づくりへの貢献、そして鋳造工場の特徴を活かしてSDGsを基軸とした商品開発を行っていくことです。

「環境負荷の軽減や工場での働く人の幸せとお客さまが喜ぶ鋳物づくりへの貢献」に向けた取り組みを続けていきます。

環境事業 sinto WELLNESS CREATION

世界中のあらゆる地域で作業環境の改善、エネルギーや材料資源の有効活用、循環利用が当たり前となった現代。私たちは集塵やガス処理、水処理など公害防止から始まった事業の枠を広げ、二オイの低減や火災対策などの働く人が安全で健康に活動できる環境の実現、さらには快適な空間づくりに取り組んでいます。

また、安全性・作業性・意匠性が高く、空間価値を高める磨き床®など、作業者にとって安全、安心、快適な環境を提案・提供し続けていきます。

搬送事業

搬送事業は、コンベアやシザーリフトといった搬送・移送などを行うマテリアルハンドリング技術により、モノとモノをつなぐことでお客様の生産や物流の一端を担っております。

これまで培ってきた技術に、画像処理技術やロボット技術を応用することで、生産工程だけでなく、物流業界においてもマテリアルハンドリングの自動化、トラックヤードの合理化等のマテリアルハンドリング全般におけるお客様の未来につながる省力化など、ご提案を行ってまいります。

特機事業

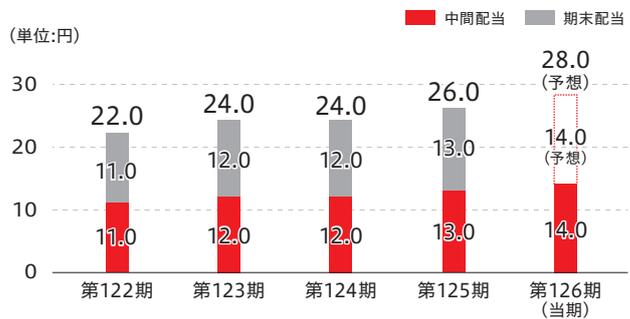
特機事業が担うのは、世の中の環境変化に対応した事業領域の拡大に向け、オンリーワンの技術を武器に新しい事業へ挑戦し続けることです。

世界的な環境保護への取り組みが進む中、EV化に向けた電池需要からロールプレス機の投入、また、カーボンニュートラルへの取り組みで電気の「見える化・減らす化」ツールの商品化など、これまでに培ってきた既存技術に新たな技術を融合することで、新事業分野を確立し、「クリーン」「精密」「省エネ」「電動化」などをキーワードに、グローバルな視点で事業を展開していきます。

会社概要

商号 新東工業株式会社
(英文名: SINTOKOGIO, LTD.)
本店所在地 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
大名古屋ビル24階
設立年月日 1934年(昭和9年)10月2日
資本金 57億5,222万4,825円
代表者 代表取締役 社長執行役員 永井 淳
従業員数 4,028名(連結)、1,776名(単体)

配当金の推移



株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、多くの皆様に当社を知っていただき、事業への理解を深めていただくこと、当社株式に投資していただく魅力を高め、中長期にわたり株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的とし、株主優待制度を導入しています。

● 対象となる株主

毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上かつ1年以上保有されている株主様が対象です。

● 株主優待の内容

右記の通り、保有株式数、保有期間の区分に応じ、クオカードを贈呈いたします。

● 贈呈時期

毎年12月の発送を予定しております。

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株~999株	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分
1,000株以上	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分

※保有期間は毎年9月末日時点の株主名簿に同一株主番号で連続して記載または記録された回数をもとに算出いたします。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会 毎年6月に開催
公告の方法 電子公告
(<https://www.sinto.co.jp/investor/>)
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
証券コード 6339
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
名古屋証券取引所プレミア市場
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座が無い場合特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号 大名古屋ビル24階
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

www.sinto.co.jp



見やすく読みま
ちがえにくいユニ
バーサルデザイ
ンフォントを採用
しています。

